



FOREX WEEKLY REPORT

2018年4月23日

(株)新生銀行 市場営業部
SFXM-1804237704

I. 先週の動き

通貨	東京市場			海外市場			終日			
	始値	安値	高値	安値	高値	終値	安値	高値		
ドル円 高値 107.86 安値 106.89	4/16	月	107.51	107.13	107.61	107.04	107.39	107.12	107.04	107.61
	4/17	火	107.12	106.91	107.16	106.89	107.21	107.00	106.89	107.21
	4/18	水	107.01	107.00	107.39	107.10	107.37	107.23	107.00	107.39
	4/19	木	107.23	107.19	107.52	107.23	107.50	107.37	107.19	107.52
	4/20	金	107.37	107.36	107.73	107.48	107.86	107.64	107.36	107.86
ユーロ円 高値 133.09 安値 132.05	4/16	月	132.60	132.12	132.67	132.17	132.97	132.61	132.12	132.97
	4/17	火	132.61	132.47	132.67	132.12	132.77	132.36	132.12	132.77
	4/18	水	132.37	132.37	132.90	132.43	132.88	132.69	132.37	132.90
	4/19	木	132.69	132.68	133.09	132.36	133.09	132.55	132.36	133.09
	4/20	金	132.58	132.58	132.95	132.05	132.82	132.29	132.05	132.95
ユーロドル 高値 1.2414 安値 1.2250	4/16	月	1.2334	1.2325	1.2342	1.2325	1.2395	1.2380	1.2325	1.2395
	4/17	火	1.2380	1.2376	1.2405	1.2336	1.2414	1.2370	1.2336	1.2414
	4/18	水	1.2370	1.2364	1.2382	1.2342	1.2397	1.2374	1.2342	1.2397
	4/19	木	1.2374	1.2365	1.2385	1.2329	1.2400	1.2345	1.2329	1.2400
	4/20	金	1.2345	1.2333	1.2349	1.2250	1.2353	1.2290	1.2250	1.2353

◆先週の動き

【4/16】週末に米英仏によるシリア攻撃が行われたもののトランプ米大統領やジョンソン英外相が「攻撃は一回限り」との姿勢を示し、週明けの金融市場はリスクオフとはならず、シドニー時間のドル円は107.30-40レベルと前週末NY引けと同水準からスタート。東京時間朝方には日経先物やNYダウ先物が前日比プラスで寄りつき、ドル円は107.61(高値)まで上昇。その後は円が買い戻されて東京午後には107.13まで反落し、欧州時間にかけて107円前半での揉み合いとなった。米4月NY連銀製造業景況指数(実績15.8 / 予想18.4)や、米3月小売売上高速報(前月比+0.6% / 予想+0.4%)への為替市場の反応は限定的。その後トランプ大統領のツイート「中国とロシアの通貨安誘導、容認できない」を契機にドル売り地合いとなり107.04(安値)まで小幅に下落したが、トランプ大統領が「ロシアへの追加制裁計画をとりやめ」(ワシントン・ポスト)との報道にはロシアルーブルが買い戻されたものの主要通貨には特段影響は無かった。週明けのユーロドルはシドニー時間から東京時間を通して、1.2325を安値に1.23台前半での小動きに終始。欧州入り後、ユーロ買いが優勢となり1.23台半ばまで上昇。NY時間には1.2395(高値)まで続伸。その後1.23台後半の高値圏で揉み合って引けた。

【4/17】ドル円は終日を通して107円を挟み値幅32銭の狭いレンジで推移。東京時間は日経平均株価が横ばいで推移する中、ドル円は107円台前半で小動き。中国第1四半期GDPは市場予想通りとなり(前期比+6.8% / 予想+6.8%)、主要通貨への影響は限定的。欧州時間序盤にはドル売りが優勢となり一時107円割れまで小幅下落。その後は一転してドルが強含む中、NY時間には米3月鉱工業生産が市場予想を上回った事(前月比+0.5% / 予想+0.3%)も相俟って107.21(高値)をつけた。NY午後には円買いが強まり一時106.89(安値)まで反落したもののすぐに107円台前半まで戻して引けた。東京時間のユーロドルは1.2380を挟んだ小幅レンジで推移。欧州時間にかけてユーロが買われ1.2414(高値)をつけるも、独4月ZEW景気期待指数が市場予想を下回り(実績-8.2 / 予想-1.0)一転してユーロが売られ、NY時間には1.2336(安値)まで下落。引けにかけて1.23台後半まで戻した。対スイスフラン(EURCHF)では2015年のスイスフランショック来の高値1.19台後半まで上伸した。

【4/18】ドル円は終日を通して107円台前半で値幅39銭と、前日に続き小動きとなった。東京時間朝方につけた107.00が安値。本邦3月貿易収支は貿易黒字が市場予想を上回ったものの(実績+7,973億円 / 予想+4,992億円)、為替市場の反応は限定的。日経平均株価上昇(前日比+310円超で引け)に伴い午後には107.39(高値)まで上昇。その後、海外時間は107円台前半で方向感に乏しい動きとなった。NY時間には米地区連銀経済報告(ページブック)での「見通しは明るい、企業は関税に懸念を表明」との指摘や、トランプ大統領が日米首脳会談の冒頭で貿易不均衡の是正を日本側に直接要求した事が伝わるも、いずれも為替市場への影響は限定的となった。



東京時間のユーロドルは1.2380を挟んだ小幅レンジで推移。欧州時間にはユーロ圏3月消費者物価指数が予想を下回り(前年比+1.3% / 予想+1.4%)1.2342(安値)まで下落するも、その後はユーロが買い戻され、NY時間には1.2397(高値)まで上昇。引けにかけて1.23台後半まで戻した。WTI原油先物は、米エネルギー情報局の週間在庫統計で原油在庫の減少が確認され、2014年12月以来の高値をつけた。他、金属市場では対ロシア制裁に絡み、アルミニウム、ニッケルが10%以上急騰した。

【4/19】ドル円は一日を通し107円台前半で小動きの展開で終始した。早朝行われた日米首脳会談後の記者会見では、トランプ大統領から通商問題や為替水準に関する強硬発言は出ず、ドル円は朝方につけた107.19(安値)から東京仲値需要をこなしながら107.52(高値)まで上昇。その後、日経平均株価の上げ幅縮小に伴い、欧州入り後には107円台前半まで小幅に値を下げた。NY時間には米4月フィラデルフィア連銀景況が市場予想を上回り(実績23.2 / 予想21.0)また米10年債利回りが2.93%台まで上昇する中、ロンドンフィキシングにかけて主要通貨に対してドル買いが優勢となりドル円は107円台半ばまで上昇。NYダウ平均の軟調推移とともに一時107.23をつけるも動意ない展開が続き107.35-40レベルで引けた。東京時間のユーロドルは1.23台後半の小幅レンジで推移。欧州時間序盤に1.2400(高値)まで小幅上昇するも、その後1.23台後半へ戻した。NY時間には、ロンドンフィキシングにかけてドル買いに傾斜し1.2329(安値)まで下落。その後1.23台半ばで揉み合って引けた。英ポンドは、カーニー英中央銀行総裁の「来月の利上げは既定路線ではない」との発言を受け、対円では152円台後半から151円台前半まで1円以上の下落となった。ユーロ/スイスフラン(EURCHF)は直近高値を更新し、2015年1月以来となる1.20台まで一時上昇した。

【4/20】ドル円は、東京時間朝につけた107.36が安値。東京仲値にかけて5・10日のドル買い需要を背景に107円台半ばまで上昇。その後も日経平均株価の上昇を追い風に107.73まで続伸するも、株価が下落に転じると伸び悩み、欧州時間にかけては107円台半ばで揉み合った。NY時間に入ると、米10年債利回りの上昇に連れて107.86(高値)までドル買いが進行。NY時間午後は米株下落が重しとなり、ドル円は107円台半ばまで緩んで引けた。週末「北朝鮮、核実験とCBMの実験を停止し、実験場を廃棄へ(朝鮮中央通信)」との報道で、リスク許容度の改善から、ドル円は早朝107円台後半まで上伸している。東京時間のユーロ円は、1.23台半ばで膠着。欧州勢参入後は、欧州株の軟調推移に伴い幅広い通貨に対してユーロが売られ、1.2353(高値)から1.23割れまで下落。NY時間には米長期金利の上昇に伴い対ユーロでもドルが強含む中、ECB当局者がQE終了発表先送りを示唆したとの報道も相まって1.2250(安値)まで下値を拡大。引けにかけては1.23ちょうど近辺まで小幅に値を戻した。

II. 今週の予想

通貨	今週予想		コメント
	安値	高値	
ドル/円	106.50	109.00	ややブル
ユーロ/円	131.50	133.50	レンジ
ユーロ/ドル	1.2200	1.2350	レンジ

◆今週の予想

今週のドル円は狭いレンジの中で2か月ぶりに108円半ばを試す展開を予想。

このところドル円は地政学リスク等により上値を抑えてきたが、米中貿易摩擦は「ムニューシン米財務長官が訪中を検討」、北朝鮮問題は「核実験中止を発表」、シリア情勢に関する米露関係は「米の対露への追加制裁の検討はない」といずれも緊張感は和らいでおり、リスク回避の円買いは一服している中、米長期金利の上昇を背景にジリジリとしたドル高円安が進行すると考える。ただし10年債利回りが2月の水準を超え、3.0%を目指す展開になっており、2月の米金利高を警戒した米株安を連想させる。そのためこれ以上の金利上昇は米株の大幅下げに繋がる可能性があり、必ずしもいつまでもドル高材料になるとは限らない。

今週のイベントとして第1四半期米GDPがあるが、足許では個人消費の堅調さが確認されている一方で企業設備投資はやや一服と予想が割れており、結果次第ではドル買いが加速する可能性がある。

また週後半に日銀政策決定会合、ECB理事会が控える。日銀政策決定会合は足許の消費者物価指数等を勘案すれば現状維持が濃厚であることや、ECB理事会は量的緩和を9月までは継続することが確定的であることから、その内容自体にサプライズはないだろう。ただし、これまで黒田総裁の出口発言に対しメディアが過剰に円高材料として報じる局面が散見していることを留意しておきたい。



Ⅲ. 経済指標カレンダー

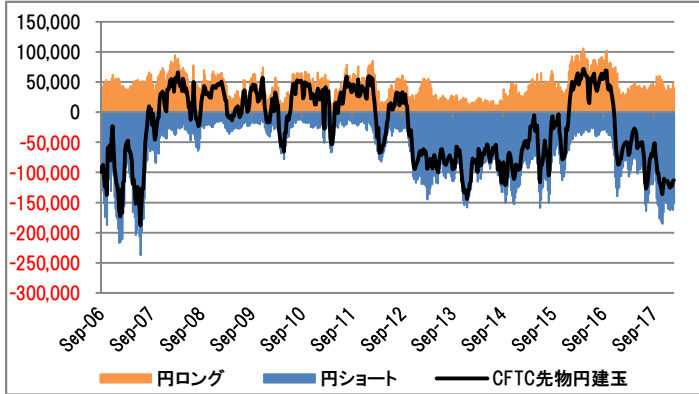
日付	時間	国	月	経済指標、要人発言
4月23日	仏大統領が訪米(～25日)			
	16:30	独	4月 速報値	マークイット/BMEドイツ製造業PMI
	17:00	欧	4月 速報値	マークイット ユーロ圏コンポジット・製造業PMI
	22:45	米	4月 速報値	マークイット米国製造業PMI
	23:00	欧		クーレECB理事、発言
	23:00	米	3月	中古住宅販売件数
	4:30	加		ポロズBOC総裁、ウィルキンスBOC副総裁、発言
4月24日	米仏首脳会議(ワシントン)			
	10:30	豪	第1四半期	消費者物価指数(前期比)
	17:00	独	4月	IFO企業景況感指数
	18:30	欧		ビルロフドガロー仏中銀総裁、発言
	22:00	米	2月	FHFA住宅価格指数(前月比)
	22:00	米	2月	S&P/ケースラー住宅価格指数
	23:00	米	3月	新築住宅販売件数
	23:00	米	4月	リッチモンド連銀製造業指数
4月25日	ASEAN首脳会議(シンガポール、～28日)			
	北朝鮮の朝鮮人民軍創設記念日			
	20:00	米		MBA住宅ローン申請指数
4月26日	日銀金融政策決定会合(～27日)			
	欧州中央銀行理事会(ECB)			
	15:00	独	5月	GfK消費者信頼感
	20:45	欧		ECB主要政策金利
	21:30	欧		ドラギECB総裁、発言
	21:30	米		新規失業保険申請件数
	21:30	米	3月 速報値	卸売在庫(前月比)
4月27日	米独首脳会談(ワシントン)			
	南北首脳会談			
	8:30	日	3月	有効求人倍率
	8:30	日	3月	失業率
	8:50	日	3月 速報値	鉱工業生産(前月比)
	15:30	日		黒田日銀総裁、発言
	16:55	独	4月	失業者数(千人単位)
	17:00	欧		ECB専門家予測調査
	17:30	英		GDP(前期比)
	18:00	欧	4月 確報値	消費者信頼感
	21:30	米		GDP(年率/前期比)
	23:00	米	4月 確報値	ミシガン大学消費者マインド



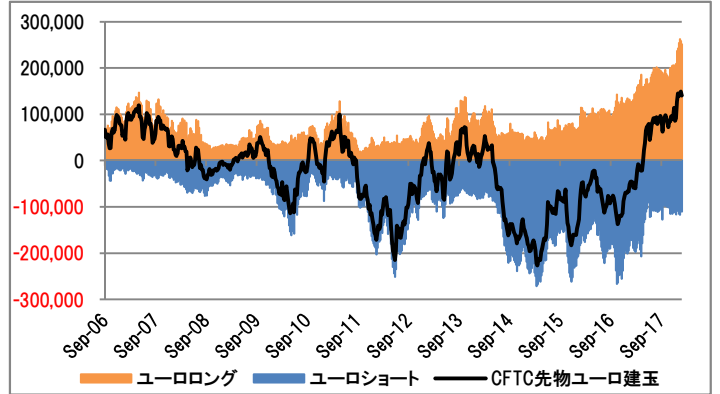
IV. IMM投機勘定

- ★ IMM投機勘定とは？IMM(シカゴマーカンタイル取引所内にある国際通貨取引部門)投機筋のポジション建て玉。
- ★「買い越し」(ネットロング)ポジションが過剰になると相場が天井を示し下落する可能性が高いといわれています。
- ★「売り越し」(ネットショート)ポジションが過剰になると相場が底を示し上昇する可能性が高いといわれています。

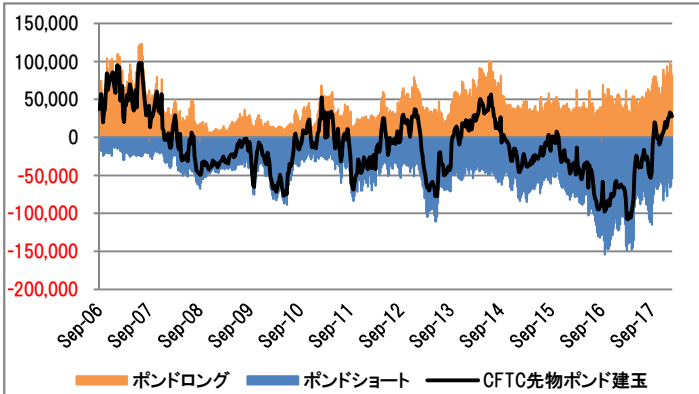
4/17 4/10 1コントラクト=1枚
2,591 2,761 JPY 12,500,000



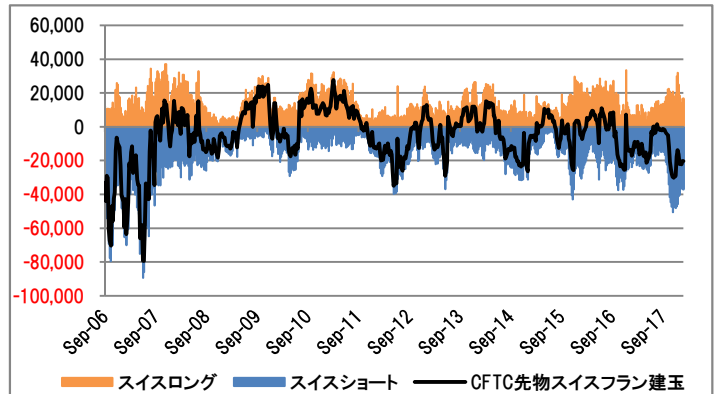
4/17 4/10 1コントラクト=1枚
151,476 147,463 EUR 125,000.00



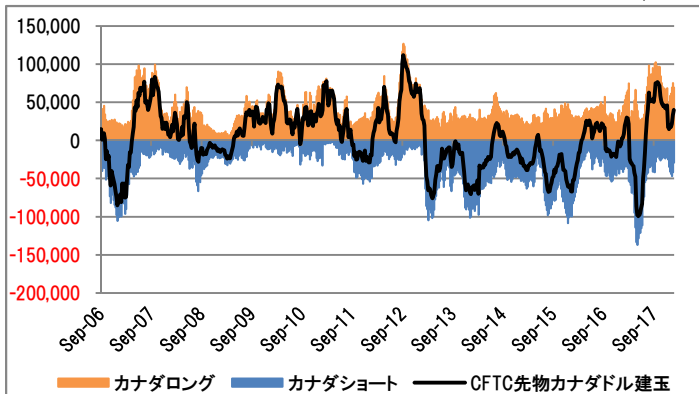
4/17 4/10 1コントラクト=1枚
47,702 43,016 GBP 62,500.00



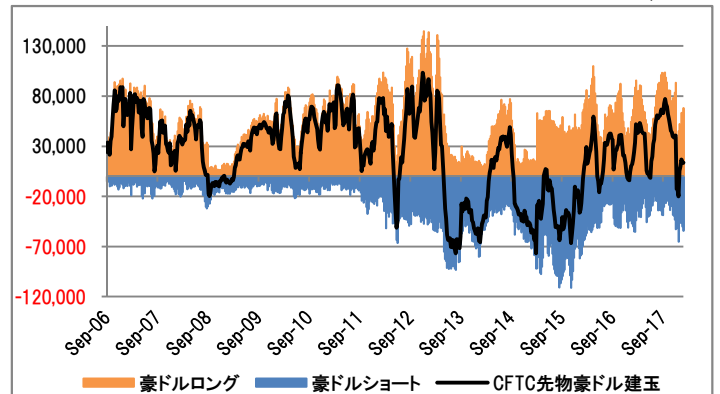
4/17 4/10 1コントラクト=1枚
-10,521 -10,744 CHF 125,000.00



4/17 4/10 1コントラクト=1枚
-30,324 -31,672 CAD 100,000.00



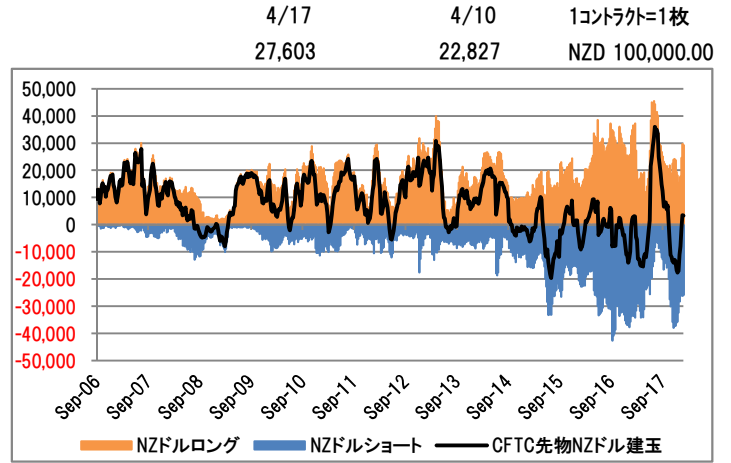
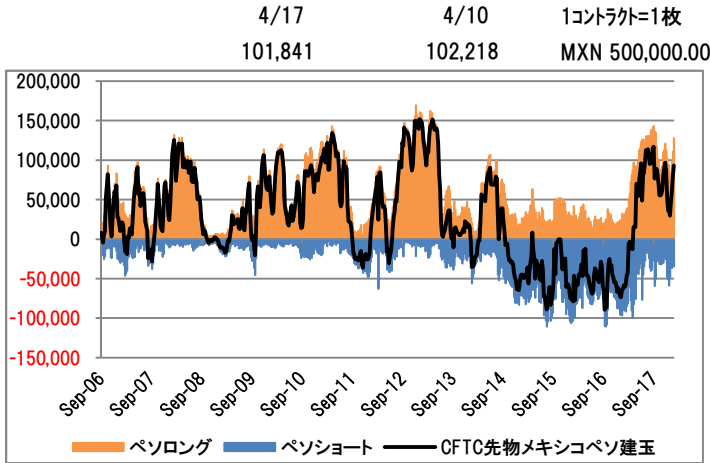
4/17 4/10 1コントラクト=1枚
-10,155 -2,796 AUD 100,000.00



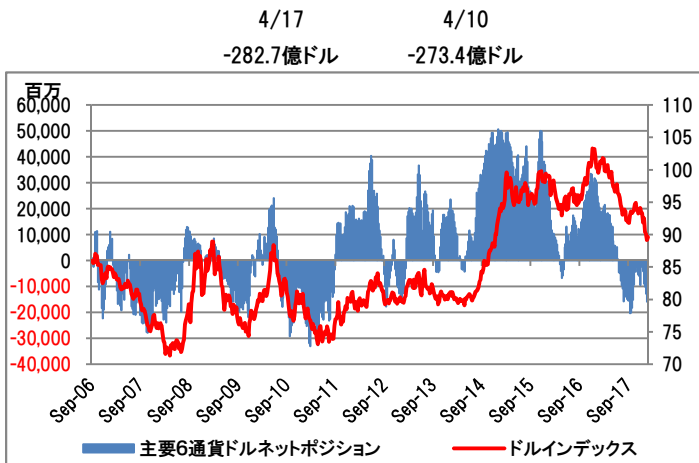


IV. IMM投機勘定

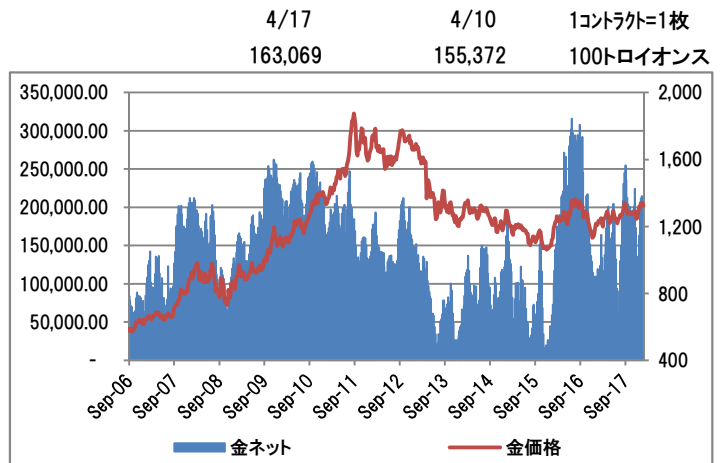
- ★ IMM投機勘定とは？IMM(シカゴマーカンタイル取引所内にある国際通貨取引部門)投機筋のポジション建て玉。
- ★「買い越し」(ネットロング)ポジションが過剰になると相場が天井を示し下落する可能性が高いといわれています。
- ★「売り越し」(ネットショート)ポジションが過剰になると相場が底を示し上昇する可能性が高いといわれています。



★対8通貨のドルネットポジションとドルインデックス



★COMEX金投機筋ネットポジションと金価格の推移



- ・この資料の無断での複製、転写、転載、改竄または配布は、禁止されています。
- ・この資料は、情報の提供を唯一の目的としたもので、特定の金融商品取引の投資勧誘・奨励を目的としたものではありません。
- ・金融商品取引を検討される場合には、別途当該金融商品の資料を良くお読みいただき、充分にご理解されたうえで、ご自身の判断と責任においてお取引をなさるようお願いいたします。
- ・金融商品によっては所定の手数料等をご負担いただく場合があります、また金融商品によっては証拠金や担保をご提供いただく場合があります。なお、具体的な金融商品が定まっていないため、現時点では手数料・証拠金・担保等の額または計算方法およびその比率をお示しすることはできません。
- ・金融商品によっては、金利水準、為替相場、株式相場等の金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により、お客様に損失が生じることがあり、またこの損失がお客様からご提供いただいた証拠金・担保(もしあれば)の額を上回るおそれがあります。
- ・商号等/株式会社新生銀行 登録金融機関/関東財務局長(登金)第10号
加入協会/日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会